

令和3年3月2日

保護者 様(家庭数)

入間市立宮寺小学校
校長 伊藤 潤

令和2年度「教育活動に関するアンケート」の結果報告

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力賜り心より感謝いたします。

さて、「教育活動に関するアンケート」につきまして、ご報告いたします。肯定的評価は以下の表のとおりとなりました。今後の教育活動の改善に役立たせていただきます。アンケートへのご協力ありがとうございました。

アンケート項目	令和2年度 肯定的評価	令和元年度 肯定的評価
1 学校は、経営方針や活動内容をわかりやすく伝えている。	84	75
2 学校は、保護者や地域の方々と積極的に連携して教育活動を行っている。	77	75
3 学校では、子どものことを理解し、子どものよさを認められる教育が行われている。	83	73
4 学校は、子どもの行動を正しく指導している。	80	68
5 学校は、子どもに授業を分かりやすく教えている。	84	70
6 学校では、子どもが楽しく充実した学校生活を送っている。	91	88
7 学校では、子どもの安全や健康に十分配慮している。	86	85
8 学校は、地域の教育資源を生かして、特色ある学校づくりを行っている。	80	79
9 子どもは、家庭学習によく取り組んでいる。	62	55
10 子どもは、読書によく取り組んでいる。	48	48
11 子どもは、家庭や地域でよくあいさつをしている。	63	65
12 子どもは、社会のルールやきまりを守っている。	73	71
13 「学校だより」「学年・学級だより」等を読んでいる。	86	85
14 子どもに学校のことをよく聞くようにしている。	88	83

昨年度と比べると、肯定的な評価のポイントが上がった項目(改善された項目)が12項目ありました。特に、項目5の「学校は、子供に授業を分かりやすく教えている」については、昨年度と比べ14ポイントも向上し、高評価となりました。

しかし、「家庭や地域でのあいさつ」については2ポイント下がりました。肯定的評価も63%となっています。学校でも挨拶は重点項目として指導して参ります。ご家庭でも指導のご協力をお願いいたします。

また、肯定的評価が7割に満たないものとして「読書」「家庭での学習」があります。

「読書」により、視覚情報を処理する「後頭葉」や思考・創造性に関わる「前頭前野」など、脳のさまざまな部位が活性化します。さらに音読は、学習効果を2～3割向上させることが期待できるといわれています。学校では毎週「読書タイム」を設けていますが、さらに読書好きな児童を育成できるよう努めて参ります。

国の学力テストの分析結果では、「家庭学習をしている児童ほど国語、算数とも正答率が高い傾向がある」という、当然の結果が出ています。学力の向上には「家庭での学習」を習慣化することが重要です。家庭と学校とが「家庭学習を大切にする」という同じ視点に立って子どもたちを支えていくことで、学習習慣の確立が促され、学力向上につながると考えます。

学校評価の結果を受け、学校では「知、徳、体の調和のとれた児童の育成を目指し、子どもが安全で、安心でき、保護者や地域から信頼される開かれた学校」を目指して教育活動を改善していきます。引き続きご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

尚、それぞれの項目について、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。